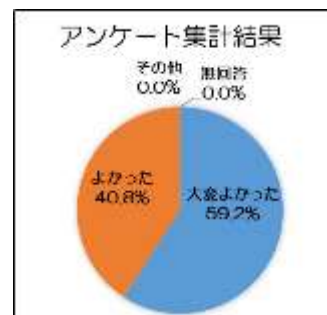


目的	各施設の担当者が、佐世保市の保幼小連携の取組みの現状及び課題を知り、各施設職員間において情報の共有を図ると共に、保幼小連携の理解・推進と子どもを支える連携につなげる。
日時・場所	令和6年1月9日（火）16：00～16：45（オンライン開催）
対象	令和5年度 各乳幼児教育保育施設、各小学校及び義務教育学校の保幼小連携担当者
演題	佐世保市「保幼小連携の取組み」子どもの育ちと学びのために・・・ つながろう ささえよう はぐくもう
内容	事務局説明 佐世保市幼児教育センター 所長 古川公子

参加者（合計 114 名）				
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校	その他
36	8	28	42	0



【感想】

- 相互の教育について理解を深めること、各地区（小学校区等）での取組みを充実させていくことも大切だと感じる。
- 時間、位置関係等が関係して、日常的なより深まった交流活動ができる園は限られてくる。そのような交流ができなくても、定期的な交流を充実したものにし、それを継続することが大切だと思う。そのためには、職員同士がお互いを知り、そして思いをもって交流を行わないといけない。
- 小学校教諭と保幼施設の職員との交流も必要であると感じている。今後は、大人が少しずつでも関わりを持つ機会を増やす、意識を持つ、という事が大切なのではないかと思った。大きく変化することはまだ難しいかもしれないが、職員一人ひとりが意識を持って保幼小連携の在り方が変化していけばよいと思う。
- 幼保の皆さんがはぐくみたい資質・能力、特に「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を目指し、毎日、真摯に取り組んでおられることに深い感銘を受けている。小学校籍の者として、要望ばかりするのではなく、幼保の先生方の思いや願いをしっかりと理解することが必要だと改めて感じている。同時に、少しでもいいので情報交換や交流の場を、ちょっとずつ増やし、いわば「普段着の相互交流」を増やしていけたらいいなと感じている。本校職員や保護者・地域にも少しでもこの連携の重要性を広げていきたい。
- 保・幼・小それぞれが保育の内容や学校のことを知っていくことで、より連携は深まっていくと思う。気持ち的に構えてしまうところもあるので、もっと気軽に交流ができるにはどうしたら良いかなと考えている。